

# 横浜げんき会 30周年記念講演

東京新聞 編集局特別報道部記者  
社会福祉士・精神保健福祉士

## 木原育子氏 横浜で語る

【日時】 2024年10月13日(日) 13:30～16:00 13:00 開場

【会場】 あーすぷらざ (神奈川県立地球市民かながわプラザ)  
5階映像ホール  
※JR根岸線本郷台駅から徒歩3分

参加無料 先着順(事前申込制)【定員】100名【申込開始】9/1(日)～  
※定員に達し次第、申込を締切致します。

「横浜兄弟姉妹の会 げんき会(横浜げんき会)」は、精神疾患を持つ兄弟姉妹のセルフヘルプグループとして活動を開始してから30周年を迎えました。

その記念講演に、社会福祉士と精神保健福祉士の資格を持ち、東京新聞の記者として、福祉や精神医療の現場に目を向けておられる木原育子さんにご登壇していただくこととなりました。取材、福祉活動を通じて感じた葛藤とやりがい、精神医療にまつわる諸問題等を語っていただきます。ご関心のある方、みなさまのご参加をお待ちしております。

<プロフィール>木原 育子 (きはら いくこ)

愛知県出身、2007年中日新聞社に入社。

2015年東京社会部で警視庁クラブ、都庁記者クラブ、戦取材班を担当。2020年から東京新聞特別報道部。現在は精神医療や司法福祉、児童養護など福祉に関わる社会課題を中心に取材中。アイヌ民族を巡る差別問題では2023年のメディアアンビシャス大賞を受賞。



●申込・問合せ方法…(1)〈Googleフォーム〉[右記の二次元コードから](#) →

(2)〈E-mail〉[yokohamagenkikai@gmail.com](mailto:yokohamagenkikai@gmail.com)

※E-mailからの申込の際は、氏名・電話番号・メールアドレスをご記入ください。こちらから申込を受けた旨の返信を致します。

●電話での問合せ先:社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 地域課  
(かながわボランティアセンター) 045-312-4815



## ■「木原育子記者」の記事

木原育子記者は、2020年から東京新聞・特別報道部にて300件以上の記事が掲載されています。その中から主に精神医療、福祉の分野に関わる記事の「見出し」を一部ご紹介します。記事本文はネットでご覧になれます。(2024年7月7日現在)

[https://www.tokyo-np.co.jp/tags\\_reporter/k1/kihara\\_i](https://www.tokyo-np.co.jp/tags_reporter/k1/kihara_i)

検索

東京新聞 木原育子

| 掲載日         | 見出し  |
|-------------|--|
| 2021年4月9日   | <視点> 社会福祉士の実習現場で見たこの国の冷たさ<br>特別報道部・木原育子                  |
| 2022年11月11日 | <視点> 「知る」ことから全ては始まる 精神科病院での実習を通して<br>特別報道部・木原育子          |
| 2023年7月7日   | 身体拘束「なぜ心が痛むの?」「地域で見守る?あんだ、できんの?」<br>精神科病院協会・山崎学会長に直撃したら… |
| 2023年10月23日 | 精神科病院大国の日本で頻発する身体拘束にWHO担当者が「NO!」<br>感情的トラウマが死につながることも    |
| 2024年5月2日   | 精神科の「闇」を告白した医師が、差別の歴史を振り返った<br>世界と逆行する日本「昔も今も違憲状態」       |
| 2024年7月7日   | スマホ「一律禁止」のケースも…精神科病院で問われる「通信の自由」<br>虐待事件が起きた施設は制限だらけで    |

## <当日スケジュール>

|       |         |
|-------|---------|
| 13:00 | 開場      |
| 13:30 | 開演～開会挨拶 |
| 13:40 | 木原氏講演   |
| 14:40 | 休憩(20分) |
| 15:00 | *質疑応答   |
| 16:00 | 閉会      |

## <会場案内>



〒247-0007  
横浜市栄区小菅ケ谷1-2-1  
あーすぷらざ(神奈川県立地球市民かながわプラザ)  
(JR根岸線「本郷台」駅 徒歩3分)  
TEL: 045-896-2121 (代表)

\*質疑応答については、参加申込の際に入力された質問、及び、ご入場の際にお渡しする質問用紙からの質問に回答を致します。